

しゅん工・操業に向けた様々な取り組み

くら・アーク再処理工場での運転訓練

当社は、運転員の技術力の維持・向上に向けた取り組みとして、2021年11月から4回に分けて、フランスオラノ社のラ・アーク再処理工場で運転員の訓練を実施してきましたが、7月29日に最後となる第4陣の運転員12名が訓練を終了します。これまでに延べ47名が前処理・分離・精製の各工程において、実機による運転を行い、起動や停止操作に加え、不具合への対処などを経験しました。

【ラ・アーク再処理工場からのコメント】

プロジェクトマネージャー トマ・ステプルヴスキ さん

日本原燃の運転員は意欲的で、運転と保守との役割分担など、訓練の枠を超えた質問が寄せられた。

この経験は、彼らの技術力向上において重要なステップであり、再処理工場のしゅん工、操業に向けて、より自信を持って臨むことができると考えている。



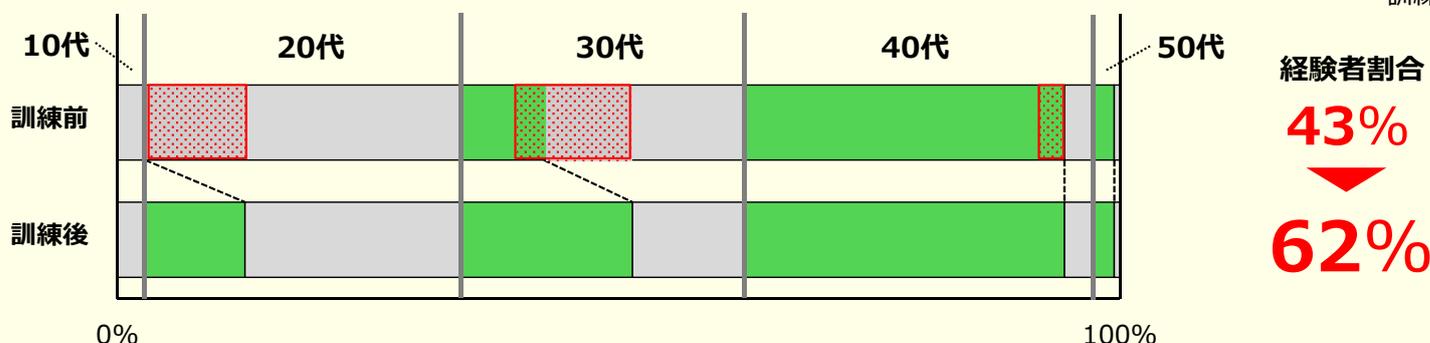
第4陣の訓練の様子

【運転員（前処理・分離・精製工程）における実機運転経験者】

■:経験者

■:未経験者

■:ラ・アーク訓練者



【訓練を経験した運転員からの改善提案】

- ・オラノのようなプロフェッショナルな運転員を目指すため、担当工程の知識が深掘りできる人材を育成していかなければならない。
- ・オラノでは溶解槽の正転／逆転の手動操作を実施するタイミングの目安値を決めており、当社の手順書も同様とすべき。

【他の運転員への展開教育】



訓練を経験した運転員が講師となり、ラ・アークで学んだことを他の運転員に展開しています。

第1陣 12名 2021/11/22～12/28



第2陣 11名 2022/3/14～4/8



しゅん工、操業に向けて、技術力の維持・向上に努め、地域の皆さまにご安心いただける安全な施設を作り上げてまいります。

第3陣 12名 2022/5/9～6/15



第4陣 12名 2022/7/4～7/29

